

# 2017年度事業報告

2017年4月1日～2018年3月31日

## 1 概況

2017年度の事業計画に基づき、健全な納税者団体としての質的向上を図り、企業経営の健全な発展と申告納税制度の成果をあげることがを目標に総合的な事業運営や社会貢献活動を推進していくことができた。  
事業及び会議等の実施内容は以下のとおりである。

## 2 事業

### ①税知識の普及を目的とする事業

#### (1)新設法人説明会

八女税務署管内に新たに設立された法人及びこれから起業しようとする人を対象に、関係する国税及び地方税の基本的な税制の仕組みについて正しく理解してもらうことを目的として、2月6日に八女商工会館で開催した。講師は八女税務署法人課税部門統括国税調査官の山口良宗氏と上席国税調査官の小林敦道氏に依頼した。

#### (2)決算税務研修会

適正な申告書が作成され提出されるようにすることを目的として、3月22日に八女商工会館で開催した。講師は八女税務署法人課税部門統括国税調査官の山口良宗氏と上席国税調査官の小林敦道氏に依頼した。

#### (3)税制改正説明会

改正法に則った誤りのない税務処理が行われるようにすることを目的として8月23日に八女商工会館で開催した。講師は八女税務署法人課税部門の統括国税調査官の山口良宗氏と上席国税調査官の小林敦道氏に依頼した。

#### (4)決算実務セミナー

適正な法人税及び消費税の申告が行われることを目的として、経理の役割、仕事の流れ、原始記録の整理・保管方法、簿記の仕組み、決算書の作成等を6月12日に八女商工会館で開催した。講師は林忠史氏に依頼した。

#### (5)全国青年の集い

税制に関する調査研究や租税教室の実施に関して意見交換、情報交換を行い、公益事業に生かすことを目的として、11月9日と10日に高知市で開催された大会に青年部会の正副部会長3名が参加した。

#### (6)租税教室

八女税務署管内に所在する小学校の6年生を対象に、近い将来において見識ある納税者として主体的に税との関わりを持つ人を育成することを目的として、青年部会の部会員が講師を務め、12月から2月にかけて12校で開催した。

#### (7)青年部会・女性部会税務研修会

税知識の普及を目的として、青年部会が10月27日に、女性部会が11月6日に、それぞれおりなす八女と八女商工会館で開催した。講師は青年部会、女性部会ともに八女税務署長の浴本康生氏に依頼した。

#### (8)各種税務セミナー

相続税の正しい知識を理解することを目的として、9月26日と27日に相続税対策講座を八女商工会館で開催した。講師は税理士の蔵森邦彦氏に依頼した。  
また、決算書の見方と経営分析を理解することを目的として、10月12日に八女商工会館で開催した。講師は税理士の米満まり氏に依頼した。

## ②税知識の高揚を目的とする事業

### (1) 税に関する各種表彰活動

八女税務署管内の全中学校、高等学校の生徒を対象に、税に関する関心を高めることを目的として、租税教育推進協議会の一員として「税」をテーマにした作文を募集したところ中学校が853編、高等学校が912編の応募があり、八女市で11月16日に、筑後市で11月8日に表彰を行った。

八女税務署管内に所在する小学校4校の6年生を対象に、近い将来において見識ある納税者として主体的に税との関わりを持つ人を育成することを目的として、女性部会が11月から1月にかけて税に関する絵はがきコンクールを開催したところ101作品の応募があり、2月に表彰を行い、展示し、一般に公開した。

### (2) 全国女性フォーラム

税制に関する調査研究や租税教室・絵はがきコンクールの実施に関して意見交換、情報交換を行い、公益事業に生かすことを目的として、4月7日に鹿児島市で開催された大会に女性部会の正副部会長3名が参加した。

### (3) 成人式での税に関する小冊子の配布

八女税務署管内で開催される成人式会場にて、納税意識の高揚を図ることを目的として、新成人全員に税に関する小冊子1,300部を無償で配布した。

### (4) ホームページ及び広報誌による税情報の提供

税に対する関心を高めることを目的として、ホームページを随時更新するとともに、広報誌「矢部川だより」50号と51号を9月と3月に発行し、税に関する情報記事を掲載し、会員配布のみならず銀行等の公共機関に設置、配布した。また、各税務研修会開催案内を随時ホームページに掲載し、会員及び非会員の参加を呼びかけた。

### (5) 図書配布による税情報の提供

公益財団法人全国法人会総連合発行の「ほうじん」（季刊誌）や税に関する図書を会員及び非会員に随時配布し、税情報の提供に努めた。ホームページで非会員への書籍頒布を周知している。

## ③税制の調査研究及び提言に関する事業

### (1) 全国税制改正要望大会

税制に関する意見要望を税制委員会が中心となって取りまとめ、10月5日に福井市で開催された全国税制改正要望大会に会長と税制委員長が参加した。

### (2) 税制改正の提言・要望活動

公益財団法人全国法人会総連合によってまとめられた税制改正要望書を、1月9日に税制委員が野田国義参議院議員と三田村統之八女市長、川口誠二八女市議会議長に提出し、税制・税務に関する提言を行うとともに、ホームページや広報誌を通じて一般に周知した。

## ④地域企業の健全な発展に貢献することを目的とする事業

### (1) 新社会人マナーセミナー

新規採用された職員を対象に、社会人として必要な能力を身につけさせることを目的として、小河之子氏を講師として4月4日に八女商工会館で、公益財団法人日本電信電話ユーザ協会福岡支部筑後地区協会との共催で開催した。

### (2) ビジネスコミュニケーション研修会

中堅社員として必要な能力を身につけさせることを目的として、職場の接遇力を高める方法等を、西島昇子氏を講師として10月19日に八女商工会館で、公益財団法人日本電信電話ユーザ協会福岡支部筑後地区協会との共催で開催した。

(3) パソコン講座

日常業務に必要な入力作業をサポートする機能やデータのビジュアル化等の操作技術を身につけさせることを目的として、Word初級講座を6月7日から21日に、Excel初級講座を6月28日から7月12日の週1回、それぞれ3回コースで、筑後市のパソコンスクールPCワークスで開催した。講師はPCワークスの専任講師に依頼した。

(4) 簿記講座

簿記の知識を身につけ、経営力を高めることを目的として、八女商工会議所と共催で、八女商工会館で開催した。8月28日から11月15日の週3回32回コースで、講師は福岡県立柳河特別支援学校教諭の猿渡満徳氏と税理士の江崎洋介氏に依頼した。

日商簿記2級に合格することを目的として、八女商工会館で開催した。6月22日から2月22日の45回コースで、講師は税理士の蔵森邦彦氏と河野孝信氏に依頼した。

(5) フラワーアレンジメント講座

職場環境や生活環境の美化を目的として、12月26日に正月用の講座を八女商工会館で開催した。講師はグリーン八女の江渕康枝氏に依頼した。

(6) 視察研修会

経営者の講演を聴き、企業を視察し、自社の経営に活かすことを目的として、11月7日に開催した。福岡市のもーもーらんどで食品サンプル作製体験をした後、船で博多湾一周をし、ベイサイドミュージアムやポートタワーを見学した。併せて「税金クイズ」（八女税務署作成）を実施した。

(7) 定時総会講演会

有意義な講話に触れることで、経営に関する有意義な学びを得る場を提供することを目的として、6月6日にパーソナルトレーナーの奥村幸治氏を講師に「目的達成のセルフマネジメント」というテーマで、いわ井で開催した。

(8) リスクマネジメントセミナー

企業が取るべきリスク対策やポイントを押さえることを目的として、筑後地区法人会5会との共同主催で、AIU損害保険株式会社との共催でAIU損害保険株式会社リスクコンサルティング部のコンサルタントを講師として、「事業継続計画（BCP）の準備と対策」というテーマで6月14日にハイネスホテル久留米で開催した。

(9) 経営セミナー

企業がもらえる公的資金活用の情報・方法の知識を得て、経営に活かすことを目的として、11月24日にいわ井で開催した。「会社がもらえる助成金」というテーマで助成金事業の活用等を研修した。講師は産学コーディネーターの太田嘉孝氏に依頼した。

## ⑤ 地域社会に貢献することを目的とする事業

(1) 献血活動

広く一般に呼びかけ、福岡県赤十字センターに協力することを目的として、八女ライオンズクラブ・黒木ライオンズクラブ・福岡県生コンクリート工業組合青年部との共催で、ゆめタウン八女（4月7日、11月15日の2回）、黒木町ふじの里（7月25日、11月17日、3月13日の3回）でそれぞれ開催した。

(2) 医療健康セミナー

正しい知識を学び、健康の自己管理を実践してもらうことを目的として、9月5日に八女商工会館で開催した。「働き盛りの健康管理～仕事でもプライベートでも役立つ・やり続けた人が勝者！～」をテーマに、講師は健康管理士の小久保晴代氏に依頼した。

- (3) 地域のイベント参画  
飲酒運転撲滅キャンペーンを目的として、9月23日に酒販組合八女支部と共催して八女市の祭会場で女性部会員が中心となってティッシュとうちわの配布をした。  
清潔で美しい環境づくりを推進することを目的として、11月19日に八女市主催の空き缶空きびん回収キャンペーンに参加した。

- (4) 慈善福祉活動  
九州北部豪雨支援活動として、女性部会が募金活動をし、親会の義捐金と併せて、福岡県法人会連合会を通じて甘木朝倉法人会に11月7日に送付した。

## ⑥会員の福利厚生のための事業

- (1) 経営者大型保障制度の普及推進  
会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、公益財団法人全国法人会総連合の経営者大型保障制度の普及推進を図った。
- (2) ビジネスガードの普及推進  
会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、公益財団法人全国法人会総連合のビジネスガードの普及推進を図った。
- (3) がん保険制度の普及推進  
会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、公益財団法人全国法人会総連合のがん保険の普及推進を図った。
- (4) 貸倒保障制度の普及推進  
会員である法人の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として、一般社団法人福岡県法人会連合会の貸倒保障制度の普及推進を図った。

## ⑦会員の交流を図るための事業

- (1) 役員・委員会等懇談会  
会員の交流と相互の意思疎通を図ることを目的として、役員及び委員会等の懇談会を随時実施した。
- (2) 青年部会・女性部会懇談会  
部会員の交流と相互の意思疎通を図ることを目的として、企業視察研修会や新年会、懇談会を企画し、開催した。
- (3) ボウリング大会  
競技を通じて会員の交流と相互の意思疎通を図ることを目的として、10月13日に八女グリーンボウルで開催した。

## ⑧その他この法人の目的達成に必要な事業

- (1) 会員拡大  
組織の健全な維持と財政基盤の再構築を図るため、11月と12月に支部会議を開催し、会員増強に取り組んだ。

2017年度末 会員数・異動状況

会員数	756社
入会数	4社
退会数	16社

2017年度末 青年部会・女性部会 部会員数

青年部会員数	34名
入会数	1名
退会数	0名
卒業生	5名
女性部会員数	51名
入会数	1名
退会数	0名

- (2) この法人の認知度の向上  
あらゆる機会を利用してこの法人の認知度向上に努めた。